

疾患名

閉塞性動脈硬化症

病気について

多くは下肢の動脈が動脈硬化によって狭くなる、あるいは詰まってしまふことで血行障害が起こり、筋肉や皮膚に酸素や栄養を十分に供給できなくなる病気です。高齢、喫煙、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、腎不全などがリスクとなります。軽症では足が冷たく感じる程度ですが、病気が進むと少し歩いただけで足やふくらはぎが痛くなり、重症では足の潰瘍・壊死がおこり下肢切断が必要となる場合もあります。

治療について

食生活の改善、禁煙・運動など生活習慣の改善、糖尿病・脂質異常症・高血圧症のコントロール、抗血小板薬などによる薬物療法のほか、重症の場合には血管内治療や血管バイパス術などの血行再建術が必要となります。保険適用を満たす場合には、LDLアフェレシスも行われます。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェレシス療法の種類：LDLアフェレシス

回数：一連につき3月間に限って10回を限度として実施します。